事業評価票

132	「外国人おもてなし語学ボランティア」育成事業 （生活文化局都民生活部／一般会計）	事業開始	平成 26 年度
		事業終了予定	平成 31 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

○　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、一時的に日本に滞在する外国人が安心して過ごすことができる環境整備が必要である。

○　そのため、街中で困っている外国人を見かけた際に簡単な外国語で積極的に声をかけ道案内等の手助けができるボランティアを育成する。

○　都民全体による「おもてなし」の実現を目指し、平成31年度までに本ボランティアを３万５千人育成することを目標としている。

根拠法令等	

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

○　平成27年２月に都内３か所でトライアル講座を開催し、カリキュラムや講座運営について検証した。
　また、本ボランティアへの理解の促進と気運醸成のため、26年10月にイベントを開催し、都民約550名が参加した。

○　26年７月からは都内各地で育成講座を本格的に開催し、27年11月現在で1,000名を超えるボランティアを育成した。

3 どのような課題や問題点があったか

○　本事業に対する都民の関心が非常に高く、過去に開催した講座は受講者を抽選により決定する状況となっている。
　講座の開催回数を増やし、多くの都民が本講座を受講できる体制を整えていく必要がある。

○　また、今後は育成したボランティアの活動意欲の維持・向上を図ることが課題となる。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　育成目標の達成及び受講を希望する都民への機会提供のため、東京都が開催する講座に加え、区市町村や区市国際交流協会、企業等との連携講座を展開することで、多くの講座を都内各地で開催していく。

○　また、受講者向け情報提供を行うポータルサイトを開設するとともに、ボランティア同士の交流イベントやフォローアップ研修等を充実することで、ボランティアの活動意欲の維持・向上を図る。

歳入	26年度決算額	― 千円	歳出	26年度決算額	38,797 千円
	27年度予算額	51 千円		27年度予算額	178,716 千円
	28年度見積額	317,318 千円		28年度見積額	317,318 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

○　東京都を訪れる多くの外国人に対応するためにも、道案内等の手助けや「おもてなし」ができるボランティアの計画的な育成が必要である。

○　そのためにも、区市町村等と連携して育成に向けた体制を構築することに加え、研修やポータルサイト等による継続的な情報提供を行っていくことは妥当である。

6 28年度予算で、どのように対応したか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　事業内容及び経費を精査した上で、所要額を計上する。

歳入	28年度予算額	297,633 千円
歳出	28年度予算額	297,633 千円